

# 「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善」に係る研修会 (その2)を実施しました。

新たな学校教育準備  
プログラム推進事業  
通信 No.3

平成30年9月3日  
教育指導課教育課程係

## 『主体的・対話的で深い学びの視点に立った授業づくりのポイント』

教育指導課 大黒 知行 指導主事

平成30年8月27日(月)、仙台市立人來田中学校(佐藤丈春 校長先生)を会場に「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善」に係る研修会が、開催校の先生方の他、近隣の小・中学校の先生方も参加する中、行われました。研修会では、教育指導課の大黒指導主事から「主体的・対話的で深い学びの視点に立った授業づくりのポイント」と題して講話がありました。

“主体的な学びを生み出すためには、どのような発問が望ましいか”“指導する側が、どのような見通しを持ち、どのような振り返りを子供たちにさせるべきか”“対話をさせる際のポイントは何か”“深い学びにつながる各教科等における「見方・考え方」をどのように捉えたらよいか”などについて、参加された先生方と、実際の授業場面を想定し、対話をしながらの講話でした。大黒指導主事からの一方的な話で進むのではなく、参加者している先生方が、大黒指導主事の問いに対して自分の思いや考えを伝え合い、対話を通して話が展開されていく中で、授業改善のポイントを考えるという、まさに主体的・対話的で深い学びを生み出す時間となりました。

また、道徳の教科化に際し、これまでの道徳教育が抱えていた課題、そこから求められる質的転換をどのような視点で捉え、『考え、議論する道徳』に取り組んでいったらよいか、ということについても併せて話がありました。講話の概要は次のとおりです。

### ○ 受動的な授業とは？能動的(アクティブ)な授業とは？

#### 〈受動的な授業〉

- ・受動的な授業はT. T. T (Teacher. Talking. Time) が多い
- ・「教え込み」や「意味とつながらない暗記」中心の授業

#### 〈能動的な授業〉

- ・主体的・対話的で深い学び(どのように教えるのかといった「型」があるわけではない)



### ○ 主体的な学び

- ・子供たちが「どうしてこうなったのだろう?」「この先どうなるのだろう?」と、自分ごととして考え、必要感を持って解決したいと思える「課題や問い」が重要
- ・「見通し」を持たせる際、活動の流れだけではなく、学び方や思考の流れを見通せるようにする
- ・「見通し」を持たせる場面は、導入だけではない。いつでも、様々な機会を捉えて児童生徒と教師は学習の見通しを共有する意識を持つ
- ・「振り返り」は『何ができるようになったのか』『どのように学んだのか』『どのようにつながるか』を児童生徒が実感・自覚することが大切



### ○ 対話的な学び

- ・ねらいに向けた対話がなされているかを見取る(何について対話させるか)
- ・他者の意見を聞き、自分の考えをもう一度考え直す
- ・対話は「教師と子供」、「子供と子供」そして「自分」との対話

## ○ 深い学び

- ・各教科等の特質に応じた「見方・考え方」を働かせる
- ・知識を相互に関連付けてより深く理解したり、情報を精査して考えを形成したり、思いや考えを基に創造したりすることに向かっているか
- ・基礎的・基本的な知識及び技能の習得に課題がある場合には、その確実な習得を図ることを重視

## ○ 道徳の教科化について

〈質的転換〉→〈授業改善〉

- ・「読み物資料にある登場人物の心情理解に終始する授業」から「自分との関わりで道徳的価値を考える授業へ」
- ・「何が大切か、どうすることが望ましいのか」から「どのようなわけで大切なのか、どうすることが考えられるか」へ

◎質的転換とは道徳教育における授業改善である

〈考え、議論する道徳〉→〈主体的・対話的で深い学び〉

- ・考える …「主体的」に自分との関わりで道徳的価値について考えること→自分ごととして考える
- ・議論する …「対話」を通して、多様な考え方、感じ方と出会うこと→多面的・多角的に考える

◎「主体的」に自分との関わりで考え、「対話」を通して多面的・多角的に考え、自分の考え方、感じ方をより明確にすることにより「深い学び」につながっていく

## ★ 受講者の声 ★

- ・ 学習指導要領の総則の留意点について、ポイントを押さえて説明をいただけたので、とても参考になりました。
- ・ ただ決まった授業の「型」をすれば良いのではなく、身に付けたい力を獲得し、活用するためにはどのようにしたらよいか、柔軟に考えることの大切さを教えていただき、とても勇気付けられました。
- ・ 授業の中で明日からすぐに使える具体例を入れてお話をしてくださったので、とても分かりやすかったです。
- ・ 分かっていたようで、分かっていなかったことを整理して理解することができました。今後は「型」にはまった授業からの脱却を目指し努力していきたいです。
- ・ 「主体的・対話的・深い学び」という抽象的なものを、具体的な例を取り上げて説明してくださったので、かなり身近になり、自分自身の理解につながりました。
- ・ 自分自身、どうしても「受動的な授業」になりやすいので、普段の授業を振り返る良い機会を得ることができました。
- ・ 「主体的・対話的な学び」ができるようにするためには、常に児童生徒自身や教師自身が、『今学んでいることが最終的にどこに向かっていくのか』というゴールを見通せることが必要だということが分かりました。目的意識を持った「能動的な学び」になるよう指導方法を工夫していきたいです。
- ・ 「受動的な授業」が多いため、ねらいを大切に、児童に自分ごととして捉えていけるような授業に改善していきたいです。
- ・ 学習指導要領を読んだり、聞いたりする機会があまりないので、ポイントを教えていただきありがたかったです。学校でも伝えていきたいと思います。
- ・ 自分が一方的に教える従来の指導（TTTが多い指導）の方が、楽なのだとう自分の怠慢に気付かされました。
- ・ 授業づくりをするときに、その時間だけでなく、単元の構成をより大切にしていこうと思います。
- ・ 生徒たちの視点に立つことや、意見を吸収し、広げていくようにしたいです。自分ごととして考えられるように、問いを吟味し、じっくりと考えさせたいと思います。
- ・ 自分自身の今日の授業のことを思い出し、改善ポイントを多々思い浮かべながら話を聞くことができました。具体的に教えていただいたことを授業づくり、実践の場で使っていくつもりです。